



アンビシャス



『少しあきらめて、
全てはあきらめない』
この言葉がいつも
私の中にはあります。

表紙は語る

「アトピー性脊髄炎」

アンビシャス通信

7月の報告あれこれ

こころの現場から

つぶやきチャンプルー

シリーズ 第41回

『患者学』 加藤 眞三教授

アンビシャス広場

エッセイ 西兼盛 鉄さん

難病短歌・川柳

お勧め映画情報

占い

沖縄県難病団体の掲示板

団体定例会・交流会スケジュール

患者団体からのおたより

沖縄県内難病患者団体一覧

編集後記

アンビシャスメモ

保健所からのご案内

平成30年度【11月開講】

障害者委託訓練生募集

【受講生募集】

ピア・サポーター養成講座

2018年度

表紙は語る 三好 陽子(みよし ようこ)さん アトピー性脊髄炎

『少しあきらめて、全てはあきらめない』
この言葉がいつも私の中にはあります。



ヘルパーさんとショッピング中の試着室にて。

『アトピー性脊髄炎』と診断されて7年。発病当初は不安定ながらも歩行可能でしたが、徐々に杖に頼り、装具に頼り、今では車椅子生活です。

異変は、右手の使い辛さから始まりました。右手が上がらず、力が入らない、そんな症状が続きました。

初めは、そのうち治るだろう…ぐらいにしか思っていないませんでした。しかし、徐々に四肢の脱力や 痺れが出現し、自力歩行が難しくなっていきました。

当時、私は、障がい者支援の仕事に携わっており、主に、知的障がいを持つ子どもたちと時間を共にしていました。私は、この仕事が好きで長く続けたいと思っていたので、この頃の自身の体調に不安を覚え、近くの病院を受診しました。

そこでの、「原因不明、気のせいでは？」との診断に納得できず、他院へ。そこでも診断は同じで、3件目へ。3件目でやっと検査入院となり『アトピー性脊髄炎』と診断されました。

しかし、担当医から「ここでは治療ができないので、転院してください」と、4件目、神経専門の病院へ。

そこでは、ステロイドパルス療法が行われましたが、発症から時間が経っていたこともあり、効果はみられませんでした。医師からは「他に症例もなく、出来る治療はもうない」と告げられ、退院。

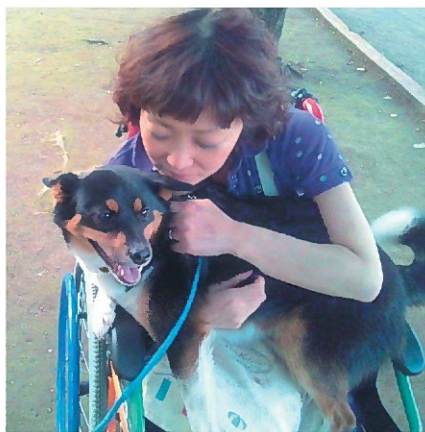
その後、なんとか仕事は続けていましたが、じわじわと症状は悪化。「このままではどうにもならない…」と、福岡の病院へ。

そこには、この病気を発見したK先生がおられることを知っていたので、K先生を頼り、福岡まで足を運びました。

初診予約を取った際、K先生宛ての紹介状を持っていると伝えたにも関わらず、電話の向こうの受付の方に「K先生が診てくださるかはおわかりませんが、希望通り、K先生に診て頂くことが出来ました。

そこで改めて『アトピー性脊髄炎』と診断され、この病気や治療法について、K先生から説明があり、血漿交換が行われることになりました。

当時の私は、血漿交換をすれば、発病前の身体に戻るだろう…そんな気持ちでしたが、そうではな



愛犬めろんとお散歩。

く、ここからが、新たな闘いの始まりとなりました。

最初の血漿交換では、仕事復帰が可能なまでに回復しましたが、治療効果が切れると、すぐに再発。

そして、再発を繰り返す度に症状は進行していきましました。体幹が不安定で、自力で座る事が出来ず、寝返りも打てない日々。排尿障害で、バルーンや、自己導尿に頼る日々。ほぼ全介助の状態でした。

症状の変化は激しく、気付けば入院の繰り返し。更に、治療の途中で、敗血症や肺塞栓症を併発するなど、1回の入院期間も長くなっていきましました。

東京と福岡を往復する生活に、家族も私も疲弊していきましました。

また、症状の進行と共に、1人では出来ない事が増え、私のイライラは

募っていきましました。『家族に負担をかける事への申し訳なさ』に加え、『誰かの手を借りる』ことへの抵抗感や罪悪感、『自力では出来ない』ことへの悔しさなどから、生きる事をやめたことも思いました。

「何も出来ない私はいない方がいい」と泣いてばかりの私に、「何もできなくてもいい。どんな三好さんでも、私は大好きだよ。1人で抱えこまないで。思いを言葉にして伝えていいんだよ」と言い、一緒に泣いてくれた看護師さんがいました。フリーズしていた私の心がふつと解けた瞬間でした。

その頃から私の中で何かが変わり、『少し諦める』ことを覚えました。出来ない事は手伝って貰うけれど、出来そうな事は自力で頑張ってみる、『全部はあきらめない』と。

『思いを言葉にすること』も、少しずつ出来るようになりました。特に、今の主治医の先生とは何でも話せるので、納得した上での入院、治療が出来ています。

そして、ヘルパーさんとの関係も変化しました。以前は、言いたい事を言えず、我慢する事が多かったのですが、今では、思っている事を伝えられ、いい関係を築けています。

ヘルパーさんに頼れるようになって

から、外出も増えました。以前は車椅子だから…と諦める事が多かったのですが、今では、あちこちに出かけています。

もう行けないかも…と諦めていたデイズニールランドへも行きました。乗れない物もありましたが、それは全てではなく、車椅子でも十分に楽しめました。

加藤先生主催の『患者学』にも参加するようになりました。その存在は以前から知っていたのですが、なかなか勇気が出ず、一步を踏み出せませんでした。ヘルパーさんに相談したところ、「興味ある。行こう!」と言ってくれ、一緒に参加することが出来ました。初めて参加した時、私は感動で心が震えました。「これだ。こういう場所を私は求めていたんだ」そう感じたことを覚えていきます。今では、『患者学』は、私とヘルパーさん共通の楽しみになっています。

また、犬を飼う事も私の夢だったので、それも叶いました。『私がリードを持って犬を散歩させる』ことは出来ませんが、『私の膝に犬を乗せ、車椅子で散歩をする』ことは出来るので、大満足です。

病気によって手放したものもありますが、それらは全てではなく、一部です。手放したからこそ手に入れられ

たものもあります。

『相手の優しさ』に対して『素直に感謝できる自分』になった事も、私が入れられたものの1つだと思えます。泣いてばかりの日々もありましたが、今では笑うことの方が多いです。

今後、症状がもつと悪化して、自力では出来ないことが増えたとしても、あまり心配はしていません。今の私は『1人で抱えこまなくていい』と知っているからです。『少し諦めて、全ては諦めない』と知っているからです。

『今ここに私がいる』こと、『寄り添ってくれる人たちと一緒にいられる今』を大切にして、これからも毎日を楽しもうと思えます。

『少しあきらめて、全てはあきらめない』より多くの人たちが、誰かと繋がって、抱えている症状や気持ちを共有できるようになればいいと思っています。

語りプロフィール

三好 陽子

(みよし ようこ)さん

1975年 青森県八戸市生まれ

【趣味】観劇

【好きなこと】

愛犬と戯れること。

楽しいことを考えること。

【好きな食べ物】メロンパン

【挑戦したいこと】乗馬

【好きな歌手】イース

7月の報告

あれこれ



看護専門学校生、在宅看護実習

アンビシャスでは毎年、看護専門学校の学生さんの実習を受け入れていきます。今年度も6月から11月の間、各1〜2日間コースで那覇看護専門学校、ぐしかわ看護専門学校の看護学生さんを2名ずつ数回に分け、在宅看護論実習を行う予定です。

これから医療や福祉の現場で働く彼らに、難病の事を知ってもらおう貴重な機会です。おそらく現場において難病の方と接する機会はそう多くないとは思いますが、いろんな悩みを抱えた難病をお持ちの方とアンビシャスの接点になっていただければ幸いです。

記憶に残るような実習を念頭に、毎年実習内容の見直しを行っています。特に重点を置いているのが、事例を用いたロールプレイです。患者さんと接する際に基本となる「傾聴・共感」に重点を置き、相談を受ける際の姿勢を学ぶことを目的としています。学生にとつては改めて「傾聴・共感」について深く学ぶ機会となっているようです。

また在宅支援に関連した緊急時の電源確保策の紹介や発電機の操作の説明、さらに意思伝達装置などのコミュニケーション支援等の実技も行っております。

看護学生の皆さんには難病を持つ方々のよき理解者として、それぞれの医療現場で活躍される事を願い、学生さんと一緒に相談員としてスキルアップしていききたいと思っています。



意思伝達装置操作の研修会inふたば訪問看護ステーション

ふたば訪問看護ステーションより、意思疎通が難しくなってきた利用者さんへレッツチャットの貸出し申請があり、その際、担当スタッフだけでなく同看護ステーションのスタッフ全員に意

思伝達装置の使い方を教えて欲しいとの要請を受け、7月20日の全員が揃う夕刻より意思伝達装置の勉強会を実施しました。

病状の進行により、利用者さん本人との会話がだんだん難しくなり、本人の意思が上手く伝わらなくなってきた。看護する側も患者さんの状態や要望などをお聞き出来ない、何をしたいのか、何をすればいいのか、何を判らなくなります。本人も自分の意思が伝わらないことに苛立つてくることもあります。今回は、このような状況を少しでも改善する為、機器の具体的な設定方法を学ぶスキルアップを目的に研修を行いました。実際に機器を操作して、スタッフ全員がレッツチャットの設定が出来るようになりました。皆さまとても熱心で質問も多く相互の学びとなりました。



沖縄指笛の販売に向けて製作開始

沖縄指笛の製作がスタートしました。現在3名の方が指笛の製作を行っています。作業を覚えるまで、週2日ほどの日程でアンビシャスに来所してもらい、製作手順の説明を受けながら何度も試作品を作り、完成品を目指しています。

製作工程がおおよそ把握できた後は在宅での製作となります。ご自宅での作業は、自身の体調に合わせ無理なく自分のペースでできるのが魅力かと思っています。

初めの内は音を出すコツが掴めず悪戦苦闘していますが、それだけにいい音で鳴った時の喜びは格別のようにです。気温や湿度でも粘土の状態が変わるため、粘土の特性を理解する必要があります。ありますが、販売出来る作品まであと一歩のところまで来ています。

現在、製作中の3名の方の作品が店頭にも並ぶの間近です。ご期待ください。



こころの現場から

治療に対するやる気を出させるためには

慢性疾患を抱えていると、自分の健康・体力維持に必要とされる継続的な努力をすることが難しい場合があります。

例えば糖尿病を抱えて生きる方で運動機能の障害が無い方の場合には、日常生活のなかに効果的に運動を取り入れ、消費カロリーを増やすことが治療には有効とされています。買い物をする際に少しスローで歩く距離を増やしてみる、近い距離や体調のよいときにはバスや車ではなく徒歩で移動をする、家族や友人と一緒に話しながら散歩をしてみる、なかなか家から出ることが億劫な場合にはテレビ番組で定期的に放映されているラジオ体操をしてみる、等、生活を少し変えるだけで、治療に有効な運動を行うことは可能です。

ただこのようなことをピアサポーターや医療関係者から提案されても、実際には長期的に継続して運動をで

きる方は少数です。なぜなら、運動の効果がすぐに現れないからです。だからこそ、本人もやる気をなくしてしまうし、それを支援するピアサポーターや医療関係者も「どうせできないかも」と諦めてしまうのです。

運動の例を提示しましたが、その他の治療でも同様です。本人にやる気を出させるためには、ピアサポーターや医療関係者が諦めないことが必要です。ピグマリオン効果といって教育の場面で見られる効果ですが、ピアサポートや医療現場での場面にも有効です。ピアサポーターや医療関係者が正しい最新の知識をもっていることと、諦めないことと、できない患者に対して怒りをぶつけないこと、それらが大事です。「やる気の出る言葉はないかな」と探したくもなる場合も多いでしょう。やる気は、その言葉自体ではなく、日々のよりよい関係の積み重ねから醸成されるのです。



臨床心理士 依里
鎌田 依里
(かまだ えり)

つばやまキャンパス

知ってもらいたい非常時電源確保の課題

またか！と言ってしまう。今年の台風は毎週のように発生しています。沖縄本島への直撃は免れているのですが（執筆日8/8現在）、発生回数が多いからか、周りの災害に対する意識は高くなっています。アンビシャスでは在宅で人工呼吸器を装着する方に、停電時の電源確保の支援をしています。なかなか難しく困っています。発電機は、ガソリン等の燃料の取扱いが難しく危険も伴う上、有毒な一酸化炭素ガスが発生するので屋外での使用となります。さらに雨に濡れると漏電の恐れもあり、暴風時でも濡れないような対策を取る必要があります。発電機用の防滴BOXは機種によっては純正で10万円と高額だし、手作りだと中々難しい工作をお願いしないといけなくなります。また、介護する家族がご高齢の場合、発電機の手操作が困難という事例もあります。一軒家ですと条件をクリアすれば設置も可能ですが、若い小児疾患を持つ世帯はアパート住まいが多く、大家の許可を得る等、設置条件も厳しくなります。夏場で冷房が無いと体温調整が出来ず病状が悪化する場合でも対応が出来ません。療養する本人も、支える方がご高齢の家族でも、小児の母親でも安全に操作でき、最大3日間という長時間対応が可能で、安心な非常時の電源確保が出来る装置、仕組みの構築が現在の課題となっています。



著: 照喜名 通



シリーズ「患者学」第41回

慶應義塾大学看護医療学部
教授 加藤 眞三

医療の歴史から新しい時代の医療を俯瞰する

その3

科学としての医療への移行期

15、16世紀にかけてヨーロッパで近代科学が発展し、ヒポクラテス以降の経験知を集積するのではなく、科学的な方法や考え方は、技術が医療でも次第に採りいれられるようになってきました。とは言っても、医療の対象は複雑な人体です。色々な病気について科学的に理解できるようになったのは、ごく最近のことです。それまで経験がものをいう時代がずっと続いてきたため、経験による知識が科学的な知識を凌駕する場合も少なくありません。

経験知が科学を凌駕するとは

例えば、科学的には風邪を治す薬はありません。良い環境の下で十分の休養と栄養をとり、身体の治療力を高めることが一番です。しかし、のどの痛みや発熱、そして咳・痰などの症状があれば、症状

をおさえる薬で身体が楽になります。そのことで、患者さんは薬でよくなったと考えやすいし、患者さんの経験や感想を聴いた医師も薬で治つたものと誤解してしまいます。

結果として、患者と医療者の双方で、風邪薬が効くという思い込みが広まります。このような経過で、風邪なら風邪薬をという経験知が、患者と医療者の間で、そして、市民の中で共有されていきます。

しかし、実際に風邪に薬が効くのかどうかは、服用した時としなかつた時の治療までの期間を比較しなければ解りません。風邪は自然治療力によってある一定の期間で治つてしまうからです。そのため、薬を服用する群とニセ薬を服用する群に分けて、治療期間の平均値を比較しなければなりません。そうすると、両者の間に差はないのです。そもそも、風邪をおこすウイルスを抑える薬ではないのですから論理的にも当然なのです。それでも、風邪薬が使われてい

るのは、薬をのまない風邪は治らないという思い込みと、薬をのんで症状を抑えることにより、治療するまでの間を薬に過ぎないという思いは、仕事をしなければという思いが強いからなのです。

抗不整脈の薬により早く死ぬ

これとは逆に、論理的に効くはずなのに、期待外れになった薬があります。不整脈を抑える薬が開発されたのですが、1989年発表された論文で、むしろ抗不整脈薬を飲んでいた群で死亡率が2倍も高いことが明らかになりました。不整脈を抑えても死亡率が高くなつてしまったのです。

この事件以来、不整脈を抑えるから論理的に良いはずだということではなく、最終的な死亡率をさげるという目標に対しての結果が証明されなければ、薬として有効でないことになりました。このような考え方は、最近の医療の主流となり科学的証拠に基づく医療といわれます。

エビデンスによる

医療への変化

つまり、1990年以降医療の

世界でも、エビデンス(科学的証拠)があるかどうか重大事になったのですが、本来、医学が科学的であったなら、今更エビデンスなどとは言わなくてもよかつたはず。逆からいえば、それまでの医療が必ずしも科学的ではなかつたという証拠の一つでもあります。

現在、医学生はエビデンスに基づく医療を教育され、医師の思考法はますます科学的という傾向が強くなるでしょう。まずは科学的思考法を身につけることが医師にとって大切であると思います。しかし、科学的思考だけで患者の期待に応えられるかどうかは疑問です。次号では、この問題について考えたいと思います。

加藤 眞三

1980年、慶應義塾大学医学部卒業。85年、同大学大学院医学研究科修了、医学博士。85-88年、米国ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員。都立広尾病院内科医長、慶應義塾大学医学部内科専任講師(消化器内科)を経て、現在、慶應義塾大学看護医療学部教授(慢性病態学、終末期病態学担当)。

患者の力:
患者学で見つけた医療の新しい姿
出版社: 春秋社

「患者には力がある!」毎日を健康に生きるために、真の患者中心の医療を実現するために、いま必要なことは。



東洋経済オンラインに加藤先生による
「市民のための患者学」連載配信中!
<http://toyokeizai.net/articles/-/143366>

沖縄県内 難病患者団体 掲示板

2018年9月の各団体定例会・交流会スケジュール



団体名	日(曜日)	時間	場所
全国膠原病友の会・沖縄県支部	1日(土)	14:00~16:00	那覇市保健所 3階 多目的室
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者・家族の会	8日(土)	14:00~16:00	八重山保健所
あいのかい 愛・Eyeの会(宮古地区・網膜色素変性症患者会)	8日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
神経難病友の会八重山	8日(土)	11:00~13:30	ボーリング大会 (あやぱにボウル)
全国筋無力症友の会沖縄県支部(南部)	8日(土)	12:00~	ゆんたく会 ジョイフル与那原店(参加費500円) 詳細 090-7479-8841 上原迄
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	9日(日)	16:00~18:00	サンアピリティーズうらそえ 研修室
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会	12日(水)	19:00~21:00	那覇市保健所3階
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	15日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
全国筋無力症友の会沖縄県支部(中北部)	15日(土)	12:00~	ゆんたく会 A&W北谷店(参加費500円) 詳細 090-7479-8841 上原迄
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会(中部地区)	18日(火)	19:00~21:00	沖縄市福祉文化プラザ研修室2
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	22日(土)	14:00~16:00	南風原町社会福祉センターちむぐくる館 参加希望の方は左記迄ご連絡をお願いします。
脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 中部患者家族交流会	22日(土)	16:00~17:00	コザクリニック研修室 問合せ090-9585-9259(仲西)
全国筋無力症友の会沖縄県支部(那覇・浦添)	22日(土)	12:00~	ゆんたく会 ジョイフルじょうかく店(参加費500円) 詳細 090-7479-8841 上原迄
沖縄県網膜色素変性症協会	23日(日)	14:00~16:00	沖視協(沖縄県視覚障害者福祉協会) 暗視メガネ体験会(要申込み)&交流会
全国パーキンソン病友の会沖縄県支部	30日(日)	13:00~15:00	宮古島市医療講演会 宮古島市合同庁舎 大会議室 (受付12時より)問合せ090-8294-1974(又吉)

※詳細は左記患者団体連絡先へお問合せください。

患者団体からのおたより

全国膠原病友の会・沖縄県支部より
支部設立20周年記念 医療講演会を終えて
(参加者からの声)

聖路加国際病院リウマチ膠原病センター長、岡田正人先生の医療講演会を終えて、私の思いを感じたままに書かせて頂きます。

今までは膠原病は難病であり、治らない病気！否定してもどうしようもないのだから、受け入れようと自分に言い聞かせている部分もありました。しかし、先生が話された「病気は治らない！」と断言された一言に凄く気持ちが楽になりました。

高血圧の方は降圧剤で安定を保ち、糖尿病の方も治療を受ける事で安定されている。高血圧や糖尿が完治したものではない。膠原病だけが特別な病気ではないんだと安心感に似た感情が生まれてきました。ドクターがお薬を投与するだけでは治療にはならず、お互いの信頼関係があつてこそ治療になるのだと、コミュニケーションの大切さも話されています。

岡田先生のお話になかなか、大きくうなずいていました。また、アニメ風にマクロファージやT細胞やB細胞君が登場してきたり、分かりやすい講演会でした。

岡田先生ありがとうございました。

投稿者 A・A



沖縄県内難病患者団体一覧

団体名	代表者	連絡先
OPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)友の会	黒島	(黒島)070-5413-8350
脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 那覇・南部患者の会	井上 栄治	(井上)090-5937-5292
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎 友の会	宮本 勝也	(宮本)090-8413-2621 (上原)070-5819-4876 メール:k-mi-ya-18@docomo.ne.jp
全国膠原病友の会 沖縄県支部	阿波連のり子	(阿波連)090-1944-2441 メール:yuna@kougen-okinawa.jp.org
もやの会沖縄県ブロック	金城 忠英	(金城)080-2719-4650
全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部	又吉 忠常	(又吉) 090-8294-1974
日本ALS協会 沖縄県支部	中村 勉	(島田) 090-3418-7982
全国筋無力症友の会 沖縄県支部	上原 アイ子	(上原)090-7479-8841
沖縄県網膜色素変性症協会	長嶺 房子	北部部会(伊良波) 電話・Fax:0980-53-1262 中部部会(又吉) 電話:090-3797-4125 南部部会(譜久島) 電話:080-1766-2669 八重山部会(平良) 電話:090-5081-5622 宮古部会(伊良波) 電話:090-8294-6174
神経難病友の会八重山	黒島 里枝	(黒島)090-5470-7485
八重山クローン病・ 潰瘍性大腸炎患者 家族の集い	内間 洋子 村山 盛有	(内間)090-9784-8219 (村山)090-1179-6912
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	伊是名恵子	(伊是名)090-3792-0199
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	仲里 清彦	(仲里)090-8290-3569
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	下地 ヒロ子	(下地)090-5489-4109
とんがらの会(宮古神経難病・患者家族のつどい)	砂川 泰彦	(砂川)080-1536-9287
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 中部患者・家族会	仲西 智春	(仲西)090-9585-9259
沖縄サルコイドーシス友の会	祖堅 善樹	(祖堅)090-1941-5758 (仲榮眞)090-6856-9274

編集後記

地球規模の温暖化の影響なのか先月まで全国で連日の猛暑、40度超えの地域もあり、かえって沖縄のほうが涼しいくらいの異常気象。加えて台風も頻発し各地で被害をもたらしました。例年ですと秋めいてくる頃ですがまだまだ油断はできません。十分に備えて危機を回避したいものです。

本誌「つぶやきチャンプルー」にもあるように、台風の発生件数が多い事もあり県内では、在宅で療養の難病患者のご家族や小児慢性のご家族から、台風による停電の不安から、沖縄県で実施しているバッテリー等貸与事業の相談や、停電時の電源確保策等の相談が多くなっています。いずれにしろ早め早めの対応が肝要です。

さて今月の「表紙は語る」はアトピー性脊髄炎の三好さんにご執筆を頂きました。発症から徐々に身体機能が失われ現在は車椅子での生活ですが、様々な葛藤を乗り越えた今、出来ないことに捕われず、今できることをエンジョイする姿勢に共感を覚えます。難病でお悩みの方がこの体験記をお読みになることで、何かしらの転機になれば幸いです。

文 仲村 明



2018年 9月の各保健所からのご案内

【北部保健所】Tel:0980-52-2704
 【中部保健所】Tel:098-938-9883
 【南部保健所】Tel:098-889-6945
 【那覇市保健所】Tel:098-853-7962
 【宮古保健所】Tel:0980-72-8447
 【八重山保健所】Tel:0980-82-3241

9月の予定はございません。

沖縄県立具志川職業能力開発校 平成30年度【11月開講】障害者委託訓練生募集

【募集期間：平成30年9月3日(月)～平成30年9月28日(金)】

知識・技能習得訓練コース・・・就職に必要な知識・技能の習得を図るため、民間教育訓練機関、社会福祉法人、NPO法人等を委託先として座学及び実技による集合訓練を実施するコース

コース名	定員	訓練期間	募集対象	訓練場所	委託先
パソコン・クラウド科 (知識・技能)	7名	11/1～1/31 【3か月】	身体(上肢、下肢[車いす可]、 内部障害)・知的、精神、 発達、その他 (高次脳機能障害・難病等)	うるま市	NPO法人 ていだ与勝

※受講料無料(但し駐車場代、保険料、給食費などは自己負担)

※詳しくは、具志川職業能力開発校へお問合せください。お問合せ先:098-973-6680

【受講生募集】ピア・サポーター養成講座 2018年度

【日 時】平成30年10月7日(日曜日) 11:00～16:00(開場10:30)

【場 所】那覇市保健所 3階大ホール(那覇市与儀1丁目3-21)

【主 催】認定NPO法人アンビシャス(沖縄県難病相談支援センター)

【対 象】難病を抱えている本人・家族

【受講料】無 料

【定 員】50名

【講 師】伊藤 智樹先生(富山大学 人文学部 准教授)

【演 題】「ピア・サポーターとナラティブ」※ナラティブ:語り

※講座終了後、懇親会(希望者のみ300円:ドリンク/おつまみ)

【申 込】認定NPO法人アンビシャス

TEL:098-951-0567/FAX:098-951-0565

E-Mail:info@ambitious.or.jp

難病 沖縄 

ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます 順不同敬称略

サポート・パートナー法人 ●全保連株式会社 ●株式会社 アイアム ●株式会社 いなんせ典礼

毎月定期ご寄付の方々 ●驥尾の会 ●株式会社 ぽーしょん ●匿名2名

7月のご寄付 ●沖縄宝島 ●オリオンビール株式会社 ●イオン琉球株式会社
●株式会社サンシャイン

※ホームページにも掲載しております。アンビシャスホームページにあるコンテンツより「寄付した方々/今年度」をご参照ください。

7月のご支援・ご協力

●難病情報誌195号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々
指定障がい福祉サービス事業所「あるにこ」さん

※千羽鶴 ボランティアのみな様へ ※現在折鶴の在庫が多く、誠に勝手ながら暫らく折鶴の受け入れをご遠慮させていただきます。

募金箱設置ありがとうございます 順不同敬称略

- 全保連株式会社 ●全保連コントロールセンター ●T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわ〜
- フォーモストブルーシール北谷店 ●MISTY本店・美浜店 ●株式会社K.Turtles ●有限会社育英堂書房 ●てだこボウル
- 西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく ●花野原 ●株式会社照正組 ●三郎寿し ●ホテルまるき ●水のサンクス
- 株式会社メガネ一番 ●株式会社琉薬 ●恒和ペイント株式会社 ●さわやか歯科クリニック ●auショップ久茂地店 ●山城二輪
- ギャラリーカフェ 海ばたー ●しゃしんやきんちゃんDigi-pit店 ●日本交通株式会社 ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
- 豚骨拉麺昇家 ●沖縄ちゃんぶるーネット(イオン那覇店1階) ●沖縄宝島(イオン南風原店1階) ●オリオンビール株式会社
- 沖縄トヨペット株式会社港川店・中部店・小禄サザン店 ●串焼き屋あだん ●上間菓子店 ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店
- 社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部 ●株式会社かりさら ●ジョッキハウス ●有限会社だいにちシール ●沖縄県栄養士会
- 株式会社いなんせ典礼 ●2 Da TOP(ツダトップ)ダンススタジオ

法人賛助会員 順不同敬称略

- 全保連株式会社 ●沖縄トヨペット株式会社 ●株式会社 アイアム ●弁護士法人 岡野法律事務所 ●株式会社クオサ
- 医療法人かなの会コザクリニック ●さわやか歯科クリニック ●日本交通株式会社 ●しゅくみね内科 ●有限会社太陽印刷
- 株式会社 メガネ一番 ●株式会社 名城 ●高良登記測量事務所 ●オリオンビール株式会社 ●株式会社ざまみダンボール
- 水のサンクス ●社団法人 沖縄県栄養士会 ●株式会社 アクティブ ●株式会社 長堂材木店 ●株式会社 アース ●プログレス
- 有限会社 沖縄矢崎販売 ●ふたば訪問看護ステーション ●株式会社 ぽーしょん ●テルモ株式会社 ●株式会社 舜
- 中部協同病院 ●南西医療器株式会社 ●株式会社いなんせ典礼 ●有限会社 麦飯石の水 ●訪問看護ステーションいのり
- 友愛会 訪問看護ステーション ●株式会社大成ホーム ●株式会社ケアコネクト ●たつや脳神経外科 ●かなしる内科
- いくみ皮ふ科クリニック ●首里城下町クリニック第一 ●首里城下町クリニック第二 ●訪問看護ステーション みかん
- 外間眼科 ●西崎病院 ●岸本 外科リハビリクリニック ●大宮医院 ●きなクリニック ●しんざと内科 ●伊佐内科クリニック
- 愛聖クリニック ●沖縄病院 ●稲福内科医院 ●牧港眼科 ●訪問看護ステーションうんな ●こころクリニック ●嶺井第一病院
- こぼし内科クリニック ●恩納クリニック ●南部徳洲会病院 ●城間クリニック ●長濱眼科 ●株式会社ケイオーパートナーズ
- なかむら内科おなかクリニック ●はいさいクリニック ●潮平病院 ●ハピネス訪問看護ステーション ●有限会社 タカラ
- りゅうしん老人訪問看護ステーション ●すながわ内科クリニック ●外間眼科医院崇元寺 ●岸本外科医院 ●玄米クリニック
- いちょう内科あしとみ ●同仁病院 ●下地第2脳神経外科 ●松岡医院 ●まつおTCクリニック ●かなさん内科クリニック
- 沖縄映り眼科 ●まみ皮フ科クリニック ●又吉内科クリニック ●訪問看護ステーション はっぴー ●りんご調剤薬局 浦西店
- 訪問看護ステーション あんじゅ ●ハーモニー薬局 ●くすみ薬局 ●和ごころ薬局 さつき店 ●空と海とクリニック
- 聖隷訪問看護ステーションゆい ●訪問看護ステーションこころのかて ●那覇かなぐすく皮膚科

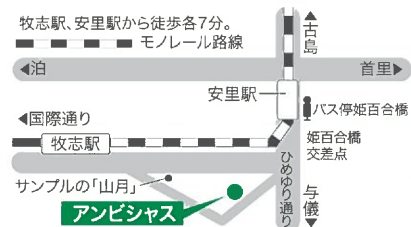
難病無料相談 (電話・来所・メール・FAX) 難病のこと、それに伴う不安や家庭・職場での悩みのご相談をお受けします。

☎098-951-0567 ✉soudan@ambitious.or.jp

平日10:00～17:00 (休:土日祝日・年末年始)

※ご相談内容・個人情報については「守秘義務」を厳守します。※面談ご希望の方は、事前にご予約ください。

アンビシャス 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29(グレイスハイム喜納2 1F)
Tel:098-951-0567(代表) http://www.ambitious.or.jp
発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人) 理事長: 迫 幸治



私たちは、沖縄県難病相談支援センターアンビシャスの活動を応援しています!



Zenhoren

全保連株式会社 代表取締役 迫 幸治
〒900-0003 那覇市安謝2丁目2番5号 TEL.098-866-4901(代表)



RYUKYU GOLDEN KINGS
http://www.okinawa-basketball.jp
facebook:Ryukyu Golden Kings Official
TEL:098-897-7331 e-mail:customer@okinawa-basketball.jp

MARKX PRIUS AQUA ALPHARD Esquire


もっとクルマの楽しさ
しませんか。
Answer. for you.
TOYOPET

沖縄トヨペット

学問なき経験は、経験なき学問に勝る。

Answer. for you. TOYOPET

複写機・OA機器リース、レンタル、
オフィス家具までトータル提案



株式会社クオサ

本社:〒901-2201 沖縄県浦添市勢理客1丁目20番14号 2F
Tel: 098-879-0162 Fax: 098-879-0198
北部営業所:〒905-0016 沖縄県名護市大東2丁目14番3号
Tel: 098-051-1600 Fax: 098-051-1601
宮古営業所:〒906-0014 沖縄県宮古島市平良松原534-6
Tel: 098-079-5751 Fax: 098-079-5752

ヴィクサーレ沖縄FCを応援しています。



とちかおくちょうさし

土地家屋調査士
伊波 学 098-897-1245

http://w1.nirai.ne.jp/mabu05/
e-mail:mabu05@nirai.ne.jp



Otsuka-people creating new products
for better health worldwide



Otsuka 大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

医療法人 存の会



首里城下町クリニック 第二
SHURI JOKAMACHI CLINIC

腎臓病、高血圧症、リウマチ・膠原病
糖尿病、循環器疾患、その他内科一般
血液透析(外来)

医師 田名 毅 ・ 比嘉 啓

第一クリニック 第二クリニック
TEL098-885-5000 TEL098-833-1001
http://www.shuri-jc.jp/



みくに株式会社 糸数盛夫

【本社】沖縄県糸満市真栄里2021-10番地
【営業本部】沖縄県宜野湾市嘉数1丁目967番1

